

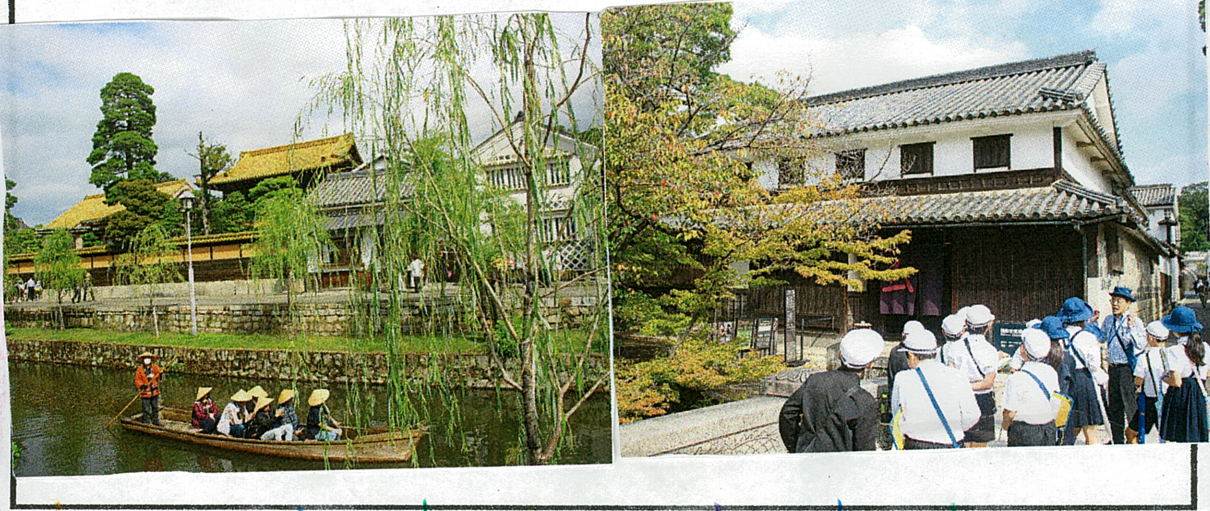
# 最古

## 新聞

山本直也

11月 11日  
発行者

### 大原孫三郎について知ろう



大原孫三郎は、とてもよいお金持ちとよばれていました。そんな孫三郎は、家をこけんとてまじした。いけんは家族の家も、うけんは、おくさんが病気のときにおくさんの病気がよくなおてほしいとねがいをこめて孫三郎がたてました。でもそのねがいはかなわずなくなてしまいました。今の二階だてと昔の二階だてでは少しちがうところがあります。それは古きです。なぜか、たかというところ、ライフスタイルにより変化するからです。大原孫三郎は家族だけでなく人のためにお金を出してた。物を作りました。それは倉敷中央病院です。それは今の倉敷中央病院です。大原孫三郎は、このように人のためにお金を使つた。やさしい人でした。

### 大原美じゅう館のこまかいみ



大原美じゅう館のはしは、あるとくちやうがあるのです。それは、ヨーロッパに作られています。なにかという大原美じゅう館は、本館と分館にあわていて、本館はヨーロッパの絵をこびして、分館は日本絵作の絵をこびして、います。どつがヨーロッパに作られているかというところ、中がふくんでいるかです。そのようになつて、今は外国人かんこうきやくもくるようになりました。

### 児島と次郎とは

#### 感想・考え

大原孫三郎はただのお金持ちではなく、とてもやさしく、てみんなのためにしてくれ、るやさしい人。だから、思いました。児島と次郎は、大学を2年で卒業する。でも頭のいい人。なんだ。なとして、すべい。いな。田んぼ。い。ま。した。この2人が、い。な。か。た。分。倉。敷。は。どう。な。て。いた。の。だ。ら。う。と。思。い。ま。した。

児島と次郎は、とても絵がうまくて、ヨーロッパに三回も行きました。しかも大学を2年で卒業しました。ヨーロッパに行つた。お金で、えん。助。して。くれた。かな。の。です。でも、大原美じゅう館にヨーロッパの絵を、と次郎が絵を、あつめてくれたから、です。一回は、絵の、ばん。きう。に行きました。二回は、絵を、集。め。に。行。き。ま。した。と次郎は、47さいで、な。な。て。し。ま。い。ま。した。